

編集 後記

2026年は国際的なスポーツイベントが目白押しの年となっています。ミラノ・コルティナ冬季五輪、サッカーW杯、そして秋にはアジア競技大会が愛知・名古屋で開催されます。サッカーW杯での日本代表の活躍は皆さんの記憶に新しいところかと思います。スポーツに誰もが心を動かされ、熱くなったり感動したりするのは、日々の努力の上にある、卓越した個人技のみならず、チームとしての連携プレーや選手を支える関係者の努力があってこそなのだと思います。公衆衛生も、多職種連携や支える関係者の努力という点では相通じるものがあると思われます。

さて、今号は、総説1編、原著3編、資料3編を掲載しています。

総説では、終末期がん患者の在宅緩和ケアの連携の質評価に関して文献レビューが行われた論文を掲載しています。チームの関係性や連携体制、チームの方針統一、患者・家族の主観的評価とデータにもとづく客観的評価が、終末期がんの在宅緩和ケアにつながる軸になることを明らかにされています。チームや組織に必要なあり方を示す示唆に富む総説となっています。

原著の中でも、児童養護施設における居住形態別の食事提供体制の実態と課題について検討した論文は、福祉と栄養の両領域にまたがる領域に着目した点で意義深く思われました。全国規模の調査によって、児童養護施設の居住形態の違いで食事の提供体制が異なっていることが明らかにされ、今後のわが国の児童養護施設の食事提供体制に資する研究と思われました。

また、資料のうち、産後女性の体重変化と体重復帰に関連する要因に関する論文では、妊娠中の体重増加量、現在の母乳状況、産後1年6か月のBMIとの関連が体重復帰と関連があることが示され、産前産後を通じた体重管理の重要性が示されました。これに加え、就労状況も体重復帰との関連が認められ、生活・育児環境に応じた支援も女性の健康を支える意義があることを表しています。

この他、資料にて、管理栄養士のスキルチェック表が開発され、その検討を行った論文を掲載しています。このスキルチェック表を用いることにより管理栄養士の栄養介入スキルの可視化と資質向上につながるが考えられました。管理栄養士のスキルを簡便で分かりやす

次号予告 (第73巻・第8号)**論 壇**

AI時代における「健康」と「保健」の再考 —
health 概念の整理……………山下喜久

原 著

自宅から活動拠点までの道路距離が住民主体の
介護予防活動への参加に影響するか：養父コ
ホート研究……………野藤 悠，他
地域在住高齢者における健康への関心度とフレイル
予防防行動の実践状況との関連：和光コホー
ト研究を用いた横断分析……………横山友里，他
入浴法と風邪などの感染症罹患との関連：3～5
歳児とその保護者による症例対照研究
……………小番美鈴，他

公衆衛生活動報告

都市部高齢者の低栄養予防を目的とした一体的
実施事業の実践：東京都千代田区の取り組み
……………杉山美香，他
新型コロナウイルス感染症流行下において市町
村保健師が行った保健活動とその抱えた葛
藤：フォーカス・グループ・インタビュー
……………相良裕美，他

資 料

超音波式エアロゾル発生機能を有する暖炉様イ
ンテリア用品を感染源としたレジオネラ症集
団感染事例……………桑波田悠子，他

く、広く活用可能な教育支援ツールとして、今後のさらなる検証を通して、普及啓発が期待される報告と思われます。

今号も、様々な分野からの投稿で成り立つ号となりました。分野は異なっても、根底に流れる“市民や国民の健康のために”という思いがあふれる紙面となっています。公衆衛生従事者は多くの場面で活躍が期待されるところであり、本号がその幅広さを示す内容となっています。冒頭で述べたスポーツが感動を呼ぶように、公衆衛生でも人々の感動につながるように活動していきたいものです。本号が示す各論文が、読者の皆様に、また未来の公衆衛生の一助となれば幸いです。

(神田秀幸)